

分科会 8

家族のピアサポート活動のひろがり

川辺慶子（公益社団法人大阪府精神障害者家族会連合会/だいかれん）
高岡睦昌（阪本病院）
天川智子（NPO 法人あおば福祉会）
野村忠良（公益社団法人全国精神保健福祉会連合会/みんなねっと）
倉澤政江（NPO 法人横浜市精神障害者家族連合会）

「家族による家族学習会」は2007年から取り組み、9年目を迎えます。全国で50か所以上2000人が受講している家族支援プログラムもひろがりを見せた活動となってきました。

今年は、家族自身が病院に出向いて2年間実施した大阪の取り組み報告を中心に紹介しました。

① 横浜の倉澤さんから、「家族学習会」の体験とビデオでの紹介

参加する家族が元気になるプログラムです。病気理解のためテキストで学びながら、家族同士の体験的知識に価値を置き、家族自身の回復に焦点をあてます。人との対等性や人の話を聞く大切さに気づきます。

② 大阪2病院における家族家族会での取り組み

悩み困っている家族は、初めに医療につながる病院に多くいるし、求めています。そこで連携できた2病院で取り組みました。病院PSWには、応募協力と学習会にはオブザーバー参加していただきました。振り返りの中で求める家族支援の違いと学びが多く得られました。終了後病院における「家族相談窓口」を設置し、2名の家族相談員が対応、家族の笑顔と笑いがある集まりの場となってきました。

③ 坂本病院 PSW 高岡さんから、支援者としての立場からの報告

すでに講演会等で、家族会連合会とはつながりがあり、信頼感があったが、実施までは不安があった。

実施してみて、家族のおかれている現状や声が理解できた。

病院として、疾病教育、治療効果・意義はいったん捨て、関心の高い意欲のある家族のきてもらい、より元気になっていただくことを大事にしたい。病院独自の家族支援の在り方を今後確立していきたい。

④ きょうだいの立場 天川さんから、今年で5年目になるきょうだい対象の家族学習会の紹介

親との関係、友人・周囲との関係、恋愛・結婚などを話し合っている。今後も参加者募集していく。

⑤ 野村理事から、全国精神保健福祉会連合会（みんなねっと）の取り組み

家族学習会の全国への普及を目指して、2016年度から事業実施していく。家族会の今後の社会における魅力ある役割りと活動の確立を目指していく。

《川辺慶子（公益社団法人大阪府精神障害者家族会連合会/だいかれん）》